

村上市環境基本計画【平成 23 年度～平成 32 年度】

中間見直し案：平成 28 年 3 月

■「村上市環境基本計画」中間見直しの概要

「村上市環境基本計画」は、平成 21 年 3 月に制定された村上市環境基本条例に基づき、平成 23 年 3 月に策定されました。

計画期間は、平成 32 年度までの 10 年間ですが、本年度で計画期間の前半が終了するため、この 5 年間の状況変化を踏まえて、施策や取り組みを分析・評価し、また、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故などの社会情勢の変化、あるいは地球温暖化対策等に関する最近の環境政策の動向などに対応するため、中間見直しを行いました。

主な見直しのポイントは以下のとおりです。

（1）環境施策、環境指標及び数値目標の見直し

環境基本計画では各目標別に環境施策、環境指標及び数値目標を設定しています。

このため、各施策・指標の 5 年間の実績を分析・評価し、その原因と今後の方向性を検討し、必要に応じて施策・指標の変更等の見直しを行いました。

（2）新たな課題への対応

放射能汚染など新たな環境問題の発生、地球温暖化対策の新たな展開など、環境基本計画の策定後に現れてきた新たな課題への対応を盛り込みました。

■環境指標及び数値目標の見直しの結果

数値目標の見直しについては、数値目標の達成状況に加えて、社会情勢の変化等を勘案し、見直すこととしました。

表1 見直し後の環境指標及び数値目標①

環境指標は計画策定後の毎年度の進捗管理において、取り組みが着実に進んでいるかを点検、評価するために設定したものです。表には計画策定時の数値である「現況値」から「平成26年度」(アンケート結果は平成27年度)までの実績が表示されています。今年度は環境基本計画の中間見直し年度にあたるため、一部目標値及び目標年度(朱書き部分)の見直しを行いました。環境指標は、「村上市環境基本計画」の第4章(36ページ～64ページ)を参照してください。

基本目標	個別目標	環境指標	単位	現況値 (計画時)	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	目標値	
										変更前 (達成年度)	変更後 (達成年度)
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	1 山々の緑と水を大切に する	間伐等実施面積	ha	484 (平成20年度)	638	277	194	251	—	500 (平成28年度)	400 (平成32年度)
		防除区域内松くい虫被害面積	ha	2.7 (平成20年度)	1.4	6.2	27.3	90.4	—	0 (平成28年度)	1.9 (平成32年度)
	3 美しい海岸を大切に する	海岸の美しさに関する満足度 (アンケート調査)	%	55.4 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	63.5	75.1 (平成32年度)	75.1 (平成32年度)
	4 野生の動植物を保護し、 生息・生育環境を大切に する	有害鳥獣による被害面積	ha	230.9 (平成21年度)	34.2	193.8	27.8	28.5	—	184.7 (平成24年度)	50.0 (平成32年度)
		身近に見かける動植物の豊か さに関する満足度 (アンケート調査)	%	58.9 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	60.1	79.5 (平成32年度)	79.5 (平成32年度)
5 農村の自然環境を大切 にする	エコファーマー認定農業者 数	人	195 (平成20年度)	186	124	106	66	—	357 (平成24年度)	新規認定 2人/年度 (平成32年度)	
2 清潔で安全・安心な生活 の中で資源の循環を追求する	1 さわやかで気持ちのよい 空気を守る(大気環境の保 全)	光化学オキシダント注意報発 令件数	件	0 (平成22年度)	0	0	0	0	—	0 (平成32年度)	0 (平成32年度)
		空気のきれいさに関する満足 度 (アンケート調査)	%	67.0 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	66.2	84.5 (平成32年度)	84.5 (平成32年度)
	2 清らかなおいしい水を 守る(水環境の保全)	BOD等の環境基準達成率	%	100 (平成21年度)	100	100	100	100	—	100 (平成28年度)	100 (平成32年度)
		水のきれいさに関する満足 度 (アンケート調査)	%	60.4 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	66.5	80.2 (平成32年度)	80.2 (平成32年度)
		上水道水質基準適合率	%	100 (平成21年度)	100	100	100	100	—	100 (平成28年度)	100 (平成32年度)
		上水道普及率	%	96.3 (平成20年度)	95.5	95.8	96.2	96.0	—	98.5 (平成28年度)	98.5 (平成32年度)
		水洗化率(公共下水道)	%	52.0 (平成20年度)	62.5	63.3	64.4	64.7	—	71.3 (平成28年度)	69.8 (平成32年度)
		水洗化率(集落排水)	%	75.4 (平成20年度)	76.0	77.8	79.5	80.6	—	83.2 (平成28年度)	83.2 (平成32年度)
		水洗化率(合併処理浄化槽)	%	74.1 (平成20年度)	75.6	76.1	78.9	79.2	—	79.5 (平成28年度)	82.0 (平成32年度)

表2 見直し後の環境指標及び数値目標②

基本目標	個別目標	環境指標	単位	現況値 (計画時)	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	目標値	
										変更前 (達成年度)	変更後 (達成年度)
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	3 土壌と地下水の安全を守る	新たな土壌・地下水汚染発件数	件	0 (平成22年度)	0	1	1	0	—	0 (平成32年度)	0 (平成32年度)
	4 静かで落ち着いた環境を守る	市道改良率	%	68.0 (平成20年度)	69.3	69.5	69.6	70.3	—	69.0 (平成28年度)	71.3 (平成32年度)
		家のまわりの静けさに関する満足度 (アンケート調査)	%	69.9 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	69.3	84.3 (平成32年度)	84.3 (平成32年度)
	5 安全・安心な生活を確保する	化学物質による環境汚染事故の発件数	件	0 (平成22年度)	0	0	0	0	—	0 (平成32年度)	0 (平成32年度)
		浸水被害区域の解消率 [浸水被害解消区域面積]	% [ha]	5.8 [0.4] (平成20年度)	9.9 [0.7]	18.3 [1.3]	38.0 [2.7]	49.3 [3.5]	—	97.4 [6.8] (平成28年度)	83.1 [6.0] (平成32年度)
	6 ごみや汚れのない美しいまちを創造する	クリーン作戦や一斉清掃の実施回数	回	80 (平成20年度)	83	91	95	100	—	80 (平成28年度)	112 (平成32年度)
		地域の清潔さに関する満足度 (アンケート調査)	%	28.5 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	37.6	64.2 (平成32年度)	64.2 (平成32年度)
	7 資源を大切に作る循環型社会を作る	1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	795.9 (平成20年度)	760.9	734.1	732.9	749.2	—	795.0 :-0.1% (平成27年度)	753.8 :-5.3% (平成32年度)
		1人1日あたりの家庭から排出されるごみの量	g/人・日	656.8 (平成20年度)	627.1	604.1	601.9	620.7	—	566.8 :-13.7% (平成27年度)	550.4 :-16.2% (平成32年度)
		事業系ごみの総量	t/年	8,071.0 (平成20年度)	7,747.0	7,592.0	7,755.0	7,472.0	—	6,849.0 :-15.1% (平成27年度)	5,193.0 :-35.7% (平成32年度)
		リサイクル率	%	14.4 (平成20年度)	13.8	14.0	14.0	13.4	—	26.8 (平成27年度)	28.0 (平成32年度)
		最終処分量	t/年	2,610.0 (平成20年度)	2,561.0	2,424.0	2,407.0	2,514.0	—	1,084.4 :-58.4% (平成27年度)	659.0 :-74.8% (平成32年度)
3 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	1 歴史と伝統を継承し、新たな文化を創造する	町並みの美しさに関する満足度 (アンケート調査)	%	50.2 (平成22年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	51.8	73.8 (平成32年度)	73.8 (平成32年度)
	2 快適な暮らしと生活空間を創造する	市民一人あたりの都市公園面積	m ²	21.85 (平成22年度)	21.90	22.17	22.81	23.14	—	24.37 (平成32年度)	24.37 (平成32年度)
4 地域から世界を考え地域環境の保全に取り組む	1 地球温暖化対策を推進する	温室効果ガスの年間総排出量	千t-CO ₂	463.2 (平成22年)	498.0	483.2	— (未確定)	— (未確定)	—	435.4 (平成32年)	435.4 (平成32年)
		公用車の低公害車導入台数	台	53 (平成21年度)	78	86	96	102	—	150 (平成32年度)	150 (平成32年度)
5 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む	2 環境教育・環境学習の実施	「こどもエコクラブ」の登録件数	件	1 (平成22年度)	1	0	0	0	—	10 (平成32年度)	10 (平成32年度)
		クライנגルテン利用者数	人	0 (平成20年度)	延べ533	延べ465	延べ530	延べ572	—	延べ3000 (平成28年度)	延べ600 (平成32年度)

■環境施策の見直しの結果（計画第4章：計画の具体的な展開）

数値目標のほか、環境施策の見直し案を次に示します。

表3 見直し後の環境施策

下表にある「環境基本計画における掲載ページ」と「村上市環境基本計画」の該当ページを参照して下さい。

下表の左欄には現計画における施策内容、右欄には施策の見直し案と見直しを行う理由が記載されています。

第4章 計画の具体的な展開

環境基本計画 における掲載 ページ	番号	現計画における施策内容 〔現在、村上市環境基本計画に位置付けて いる施策内容〕	担当課	番号	施策見直し案 〔今回の村上市環境基本計画見直しにおける施 策案〕	施策を見直す理由	担当課
	施策 方針						
41	1-4-3	里山や農地で見られる野生の動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出を図るため、自然環境に配慮した農・林道、かんがい排水等の整備を推進するとともに、不耕起田や冬期湛水田の取り組みについての検討を行います。	農林水産課	1-4-3	里山や農地で見られる野生の動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出を図るため、自然環境に配慮した農・林道、かんがい排水等の整備を推進します。（一部削除）	・不耕起田や冬期湛水田の取り組みは有効性が無いと判断し削除	農林水産課
	人と野生の動植物との共生						
45	2-1-2	畜舎から発生する悪臭については、“家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律”に基づき適正に管理が行われるように指導します。	環境課	2-1-2	畜舎から発生する悪臭については、 <u>関係法令に基づき適正に管理が行われるように指導するとともに、悪臭防止対策の実施を促進します。</u> （下線部変更、一部追加）	・悪臭に関する公害苦情が増えている ・取り組みの強化	環境課
	悪臭の発生抑制						
50	2-5-1	-	-	2-5-1	<u>国・県により開示される放射線量及び放射性セシウム沈着量に関して、広報等を通じて伝えるとともに、村上市産農産物の安全性に関して、積極的に公表します。</u> （全文追加）	・放射線の監視についてふれた	環境課
	化学物質による環境汚染の防止						
58	4-1-2	-	-	4-1-2	<u>地域特性を活かした再生可能エネルギーなど、先端的環境技術の導入によるグリーンイノベーション(※)の実現を目指します。</u> ※グリーン・イノベーション：低炭素社会の実現を目指し、環境関連技術を活用した産業戦略（全文追加）	・バイオマスエネルギーの導入は既に実現化 ・今後のさらなる取り組みの強化	環境課
	省エネルギー・新エネルギー対策の推進						

■環境配慮指針の見直し（計画第5章：環境に配慮すべき事項）

環境施策の見直しに伴い、環境に配慮すべき事項の見直し案を次に示します。

表4 見直し後の環境配慮指針

第5章：環境に配慮すべき事項

1 主体別（市民・事業者・行政）環境配慮指針

環境基本計画 における掲載 ページ	番号	現計画における配慮事項 〔 現在、村上市環境基本計画に位置付け ている配慮事項 〕	担当課	番号	配慮事項見直し案 〔 今回の村上市環境基本計画見直しにおける配 慮事項案 〕	配慮事項を見直す理由	担当課
	配慮 事項			配慮 事項			
71	4-1	—	—	4-1	事業者の専門性を活かした先端的環境技術の導入によるグリーンイノベーションの実現を目指し、研究・開発の可能性を検討します。（全文追加）	・第4章：施策方針4-1-2の修正による	環境課
	地球温暖化対策に貢献する			地球温暖化対策に貢献する			

